

肺がんドック(胸部単純 X 線検査・喀痰細胞診・CT 検査)

肺がんは、日本人のがんでの死亡率で男性は1位、女性では2位と常に高い死亡率となっております。

また、肺がんは進行が速く、転移しやすい病気で、初期症状がほとんどなく、発見が遅れがちな肺がんは検査による早期発見が完治へのカギとなります。

肺がんドックは下記に項目に該当する方にお勧めします

- 18歳以前にタバコを吸っていた
- 10年以上タバコを吸っている
- 喫煙指数(1日の本数×喫煙年数)が600以上である
- 咳や痰がよく出る
- 痰に血がまじっていたことがある
- 肺がん検診を受診したことがない
- 直系の家族に肺がんの人がいる など

喫煙は肺がんの危険因子の1つです。特に喫煙指数(1日の本数×喫煙年数)が600を超える人の肺がんのリスクは、非喫煙者の4.5倍といわれています。また、20歳以下から喫煙習慣のある人では、そのリスクは6倍近くにもなります。

検査方法



当センターの肺がんドックは、①胸部単純 X 線撮影(デジタル正面)、②喀痰細胞診(3日間喀痰法)、③CT撮影(64列マルチスライス)の3つの検査を実施します。各検査の結果から、総合判定をします。

喀痰細胞診とは、3日間の痰を採取し、顕微鏡でがん細胞の有無を調べます。

CT撮影は、東芝メディカルシステムズ(株)製 Aquilion64 を使用し、胸部(肺)の横断面(輪切り)を撮影します。10秒程度の息止め撮影を数回実施し、約5分間の検査です。

喀痰細胞診とCT撮影を行うことで、骨や心臓などの臓器に隠れた肺がんの発見率を高くします。



注意事項

- 肺がんドックのCT検査は胸部(肺)を7mm刻みの横断面(輪切り)を撮影しますので、7mmに満たない病変は描出されないことがあります。
- X線検査のため、妊娠中または妊娠の可能性があるかたはご遠慮ください。